

感謝・祈り・奉仕

～全てにおいて神が崇められますように～



会長 中山朝雄

「私にできることは小さなことでもそれを感じてきたらきつと大きなことだ」（星野富弘の「小さな実(ぐみ)」の詩画）

先日、中目黒教会で心やすらぐアート展―星野富弘の詩画作品展がありました。口に筆をくわえて画いた絵や詩とは思えない素晴らしい味わいのある数々の作品に触れ、その一枚一枚に込められた繊細な息遣いと神の愛を感じる優しさに感動し涙ぐむひと時でした。

頸椎損傷で手足の自由を失い

イムマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jp/

絶望の中でイエス様と出会い、絵と詩を画くことによつて生涯を通して多くの方々に生きる力と感動を与えてくださっております。

私達一人ひとりも与えられたタラントを用いて、今できる小さなことを真実に感謝しつつないうる事をさせていたいただきたいと強く思われました。

恵みによつて救われた私達にまづできることは、祈ることです。感謝を持つて祈ること、これは神様とのコミュニケーションであり神様が最も喜ばれることでもあります。「絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあつて神があなたがたに望んでおられることです。」(第一テサロニケ5章17、18節)また、パウロはコロサイ人に対して「たゆみなく祈りなさい。感謝をもつて祈りつつ、目を覚ましていなさい。同時に、私たちのためにも祈ってください。」(コロサイ書4章2、3節)と自分の事だけではなく、他者のためにもたゆみなく祈る大切さと必要を語っております。

救霊のため、教会のため、教団のため、BTCのため、献身者が与えられるように等々たゆみなく祈る者とさせていた

ましよう。

今般、全国のBTC後援会世話人の任を担つておられる兄弟に伝道者を養成する神学院にイムマヌエルの将来がかかっていることを意識して具体的に祈つていただくために、「2025年度BTC後援会世話人祈りのカレンダー」を配布させていただきました。是非、手元に置いてBTCのために具体的な課題を覚えて日々お祈りをよろしくお願いいたします。

また、私たち其々に、いま与えられている賜物によつて出来る奉仕をさせていただく一人一人とさせていた



この体制構築と運用のために教団活動支援部コーディネーター森一朗兄の多大なご愛労によつてスタートできましたこと心より感謝しております。

信徒の皆様にはBTCのためにお祈りいただくとともに、このBTC奉仕デーにも感謝を持つて祈りつつ相応しいご奉仕をお願いできましたら幸いです。

具体的な奉仕場所・日時の案内は、教団HPの信徒局コーナーに掲載してありますので「ご確認ください」。

「協力を主に在つてよろしく願ひいたします」。

BTC後援会費ご協力に感謝します

皆様のご支援により下記の通り会計報告ができますこと感謝いたします。

今後も後援会費(一口500円以上)のご協力をよろしくお願いいたします。

～BTC後援会費収支報告(25年上半期)～

(2025年4月1日～9月30日)

(単位:円)

項目	収入	支出
前号繰越金	1,297,440	
後援会費	261,000	
雑収入(利息)	974	
ビルド支援献金		30,000
通信費		31,645
印刷費		70,390
交通費		7,000
会議費		5,250
事務用品費		14,147
雑費		330
小計	1,559,414	158,762
次期繰越		1,400,652
合計	1,559,414	1,559,414

◆日々お祈りください

- ① 献身に導かれる方が与えられますように。
- ② 神学生の学びと訓練が祝されますように。
- ③ 教師、職員、スタッフが恵みによつて用いられますように。
- ④ 今後のキャンパス活用に主の導きがありますように。
- ⑤ BTC奉仕デーに必要な奉仕者が与えられ、また経済的需要が満たされますように。
- ⑥ 後援会の世話人、推進委員、役員が尊く用いられるように。

ホッとひと息

編集後記



企画担当から

夏の猛暑続きの中、神学生の方々は夏期実習、「とにキャン」や「ユースミッシオン沖縄」で良きご奉仕をされ、様々な収穫があったことを伺い聖名を崇めます。新学期の学びとオープンキャンパス、BTCリトリートの準備など、年末にかけて忙しい学院の営みに主の十全のみ守りと祝福がありますように、心から願ひ祈ります。(M・B)

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。」(第二テモテ3章16節)

前回から少し間があきました。これまで「福音の働きを支えた人たち」というテーマで記してきましたが、今回は「福音の継承」ということに目を向けたいと思います。

福音は、時代から時代、人から人へと伝えられて私たちのところに届けられました。私たちも、受けた福音をまわりの方々に、また次の世代に伝えていきます。福音は継承されていくものであり、そのなかで教えるという要素は重

要です。ですから、教会において、教えることは大切な働きであり、神学院においても中心的な働きと言っているでしょう。

パウロは、テモテに宛てた手紙において継承を強く意識しています。彼は地上において自分に残された時間が短いことを自覚していました。

院長コラム―教えること―

とを悟り、次の時代を担うべきテモテに訓辞を語っています。パウロにとって、自分に与えられた福音とその務めを後継者にしっかりと託すことは、どうしてもしなければならぬことでした。そして、「教える」ことの基本に聖書

があることを示しています。誤りのない神のことばである聖書は、私たちのあり方と行い、生活のすべてを定めていくものです。聖書は、教えること、正しさを示し、伝えることです。戒めとは、正しいことがなされていなくて、その誤りを示すことです。矯正とは、その誤りを正すことです。気づくことと実際に言うことは違います。矯正は後者です。訓練とは、正しい行いやあり方を継続するために必要なことです。技能が反復練習によつて身につく



(院長 林正弘)

福音を伝えていくとき、その中心に聖書があります。聖書を正しく理解し、正確に伝えていく必要があります。そのために学びは欠かせません。そして、ただ正しい知識を伝達するだけでは福音は伝わりません。教え、戒め、矯正し、訓練して、生き方に現れていくって伝わるのです。もつと聖書に親しみ、何事も聖書に照らし合わせて実践していくお互いでありたいものです。

2025年11月1日 第18号

編集・発行人

中山朝雄(後援会会長)

後援会事務局

〒226-0024

神奈川県横浜市緑区西八朔町1194-2

※後援会についてお問い合わせは下記までご連絡ください。

メールアドレス

btckoenkai2016@gmail.com

目次

巻頭言	1
BTC奉仕デー	2
神学生の一日	2
年末リトリート案内	2
25年度入学神学生証し	3
BTC後援会収支報告	4
院長コラム	4
編集後記	4
日々お祈りください	4

2025年度 春季新入神学生献身の証し



杉田流司兄
(修了者コース)

入学して半年が経ちました。あつという間の半年です。私は修了者コースですので、この場所でする期間はあと半分も残っていません。

夏期実習を終えたあと、一度だけ母教会の伝道会に出席することができました。そこで教会の皆さんから「もう帰りたいくないのでは」と、冗談まじりに「心配」のお声がけをいただきました。そのように声をかけてくださったのは、皆さんが、小さい頃から臆病な私のことをよくご存知だからかもしれません。

しかしそれと同時に、「心配になるほど、神学院の訓練に『期待』を持ってもらえるのだ」とも感じました。

あと半年の学びがあります。そして来年度は一年間のインターンシップを控えています。自分にあつた方法で、主の召しにふさわ



長坂克光兄
(正規コース)

しく、責任ある務めのために学びたいと願っています。「私たちが心から願うのは、主に喜ばれることです」(第二コリント5章9節)のみ言葉に心を留めています。

いつも尊いお祈りと励ましをありがとうございます。献身の思いは11年前から与えられていますが、この度、不思議なように全ての必要が満たされ、道が整えられましたので、今年が御心だと信じ、4月に入学いたしました。

それでも入学直前まで自分の弱さゆえに迷いがありました。第一コリント1章27〜28節のことがば与えられ、神様に押し出されるようにして入学しました。神学院での日々は、喜びと恵みに満ちていて本当に幸せです。同



岩上和也兄
(正規コース)

いつも神学院と神学生のために尊いお祈りに心から感謝申し上げます。

大学生3年生の冬、主のために生きたいとの思いが与えられました。ですが、牧師にはなる資格がないと考えておりました。しかし、そのような私に召命のみことば(エレミヤ1章5・8節)が与え



田辺大空兄
(正規コース)

私が聖宣神学院に入学したのにはまずそのように主に導かれた

という事が第一にあります。ただ、正直に言いますと召しを受けた時点で私は神学院以外の神学校に行くという可能性を考えずらしていませんでした。それはなぜか。神様が私に与えてくださったインマヌエルという神の家族を愛していたからです。

入学してはや半年、日々主と向き合い、自分の弱さや足りなさに向き合い、課題と向き合っています。学びや実習、生活を通して私は自分がさらに練られ、訓練され、整えられていく必要をひしひしと感じています。今は与えられているすべての機会を無駄にすることなく、聖霊の助けによって、召しにふさわしい器としてキリストの似姿に変えられていく事をただ願っています。

私は弱い人間です。そんな私が今、希望と喜びをもって歩むことが出来ているのはただ主のあわれみと愛する神の家族である皆様の祈りによるものであります。どうか引き続き覚えてお祈りください。

BTC奉仕デーに参加して



BTC後援会推進
委員 松岡謙之

第二回目の草刈り等の奉仕は9月16日に5教会から9名の兄弟が参加し徳竹信雄先生を含め10名で行われました。ピルド世代の兄弟も参加して下さり感謝でした。事前に信徒局の森兄の道具類や熱中症対策等の周到な準備をいただき、天候も酷暑でなく守られました。徳竹先生とBTCメンテナン

がら午前中はベテルハウス周囲の溝の泥掻きと落葉掃き、午後は正門から食堂の道両側の草刈り等を行いました。昼食時には神学生、先生方との幸いな交わりのひと時も持てました。何の事故もなく終わることができ感謝でした。



奉仕デー参加の皆さん



シニアコース
2年
神林 勤

神学院での一日

最初にお礼を述べさせて下さい。多くの方々のお祈りに支えられていること、献金や

支援によって神学院の働きが推進されていることに感謝します。また、将来の伝道師・牧師を育てるために忙しい中、多くの犠牲を払って、講壇に立てられておられる諸先生方に感謝申し上げます。

私は朝5時くらいに起床して神学院の一日がスタートし、夜10時くらいに寝ることでその日が終わります。毎朝、最初にやるべきことはデイブーションです。

哀歌3章22〜23『主』の恵みを。「実に、私たちは滅び失せなかつた。主のあわれみが尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実は偉大です。』

デイブーションで先ず、み言葉を通して神様と交わりをさせて戴き、霊の糧を得ます。マタイ4章4節『イエスは答えられた。』人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。』

デイブーションのテキストは二つ使っています。一つ目はネットに毎日掲載される「トミーの聖書理解」です。これはみ言葉をみ言葉で説明されていますので、的確で明解です。

二つめはホーリネスの先生が毎月書かれておられる「ころのごはん」です。この「ころのごはん」は一日一章を読んで、その朝のお奨めの箇所を読みま

す。これらの二つを読んで、お祈りをすると正味1時間から1時間半を要します。時には2時間。この時間はどんなに時間が無くても大切に確保しています。

このデイブーションによって一日の元気な力と知恵が聖霊の働きによって与えられていることに感謝しています。



神学院リトリートの案内
神学院教師 田辺宣恵

今年も年末リトリートが開催されます。今年は12月28日(日)〜30日(火)の日程です。日曜日スタートになります。年末静まって、特に献身を志す方々には大事な備えの時になるようにと祈りつつ備えています。献身の証しやパネルディスカッション、焚き火を囲んでの交わりの時、ゲームでさらに親しくなり、聖会、早天、祈りの時などいろんな場面で信仰の事、将来の事、宣教の事を考えます。信仰の友や先輩、後輩からも多くを学ぶことができます。ぜひ今から楽しみにご参加ください。学生、牧師子女には交通費の補助もあります。詳しくは教会に届くチラシを御覧ください。

関東4教区の皆様へ

BTC奉仕デー

BTC維持管理
ご奉仕のご案内

信徒局教団活動支援部
BTC後援会

趣 旨

現在、BTCの維持管理は、スタッフの方々やボランティアの牧師・信徒によって行われていますが、非常に難しい状況にあります。牧師と信徒の協力の関係の一環として、BTCの維持管理のうち信徒の出るご奉仕をさせていただく企画です。

修練も受け付けています！

奉仕内容

BTC維持管理奉仕	BTCキッチン奉仕	ベテルハウス奉仕
草刈りや草むしり 植木の刈り込み 側溝の掃除 枯葉の掃除 窓・網戸掃除	給食・調理 火・木・金曜日 9時半〜14時	掃除・宿泊準備 月2回 *単発でのご奉仕も あります。

経費補助 交通費を実費支給いたします。
(申請により、後日、銀行振込み)

食 事 有 り 神学生や先生方、スタッフの方々と共に頂きます。

神学院の奉仕に携わる恵みに与りましょう！
牧師に相談した上で、奉仕日の3週間前までにお申し込みください。

問合せ

信徒局
担当：教団活動支援部コーディネーター
第一期(立川教会)
jgm.shinto.mari@gmail.com

幸村 秀嗣 (板橋教会)
電話 03-3959-0953

申込み

奉仕を希望する個人(信徒)や団体(教会・教会等)は奉仕内容と日程を選び、教団活動支援部コーディネーターまでメール送信をお願いします。BTC維持管理奉仕の場合は、保険加入のため、全員の氏名、住所、生年月日も記載してください。

BTCリトリート

2025.12.28.(Sun) - 30.(Tue)

一つのことを主に願った。
それを私は求めている。
私のいのちの目の限り、主の家に住むことを
主の耀しに目を注ぎ、その實で恵みを流すために
詩篇27:4

@インマヌエル聖宣神学院